



実施主体：スマート通勤おかやま実行委員会（事務局：岡山県、岡山市、倉敷市、国土交通省中国地方整備局岡山国道事務所）

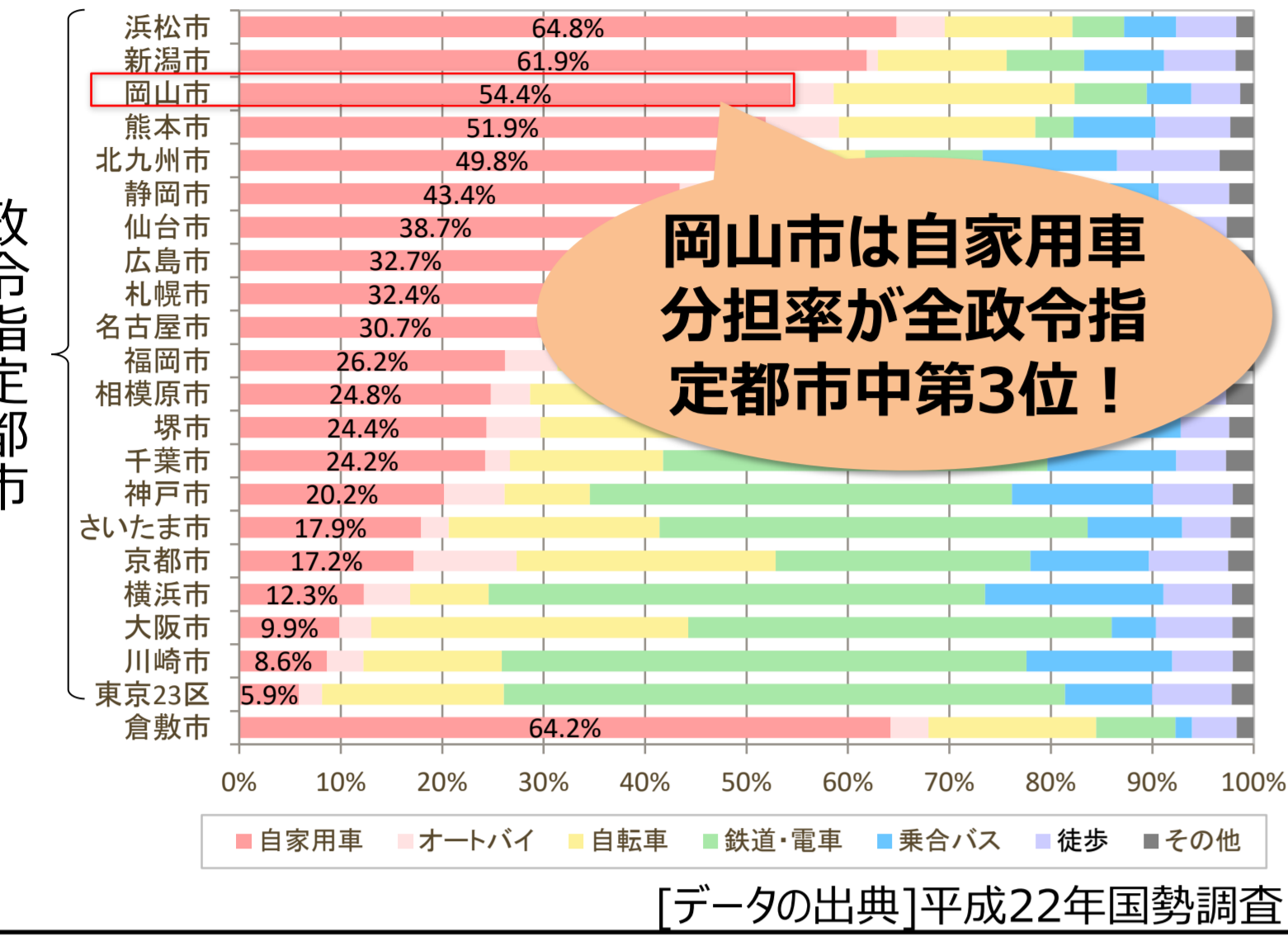
**【要旨】**

- ✓ 『スマート通勤おかやま』とは、岡山県下で毎年秋に一齐に、徒歩や自転車、公共交通の利用、車の使い方の工夫（時差出勤等）を推奨する取組。
- ✓ 近年では毎年約5,000名・100事業所が参加しているが、近年は参加事業所数の減少傾向や、新規参加者率の低下が課題となっていた。
- ✓ 2021年度の取組では、webでの参加実績について、個人単位・事業所単位それぞれで過年度実績に対する達成度を表示することで、インセンティブの向上を図った。また参加募集段階での個別の事業所訪問、ラジオ放送の実施等の広報拡充により、参加者数・参加事業所数ともに昨年度より大幅に増加した。

## 取組の背景

### 岡山の渋滞状況

#### ▼政令指定都市等の通勤・通学交通手段分担率



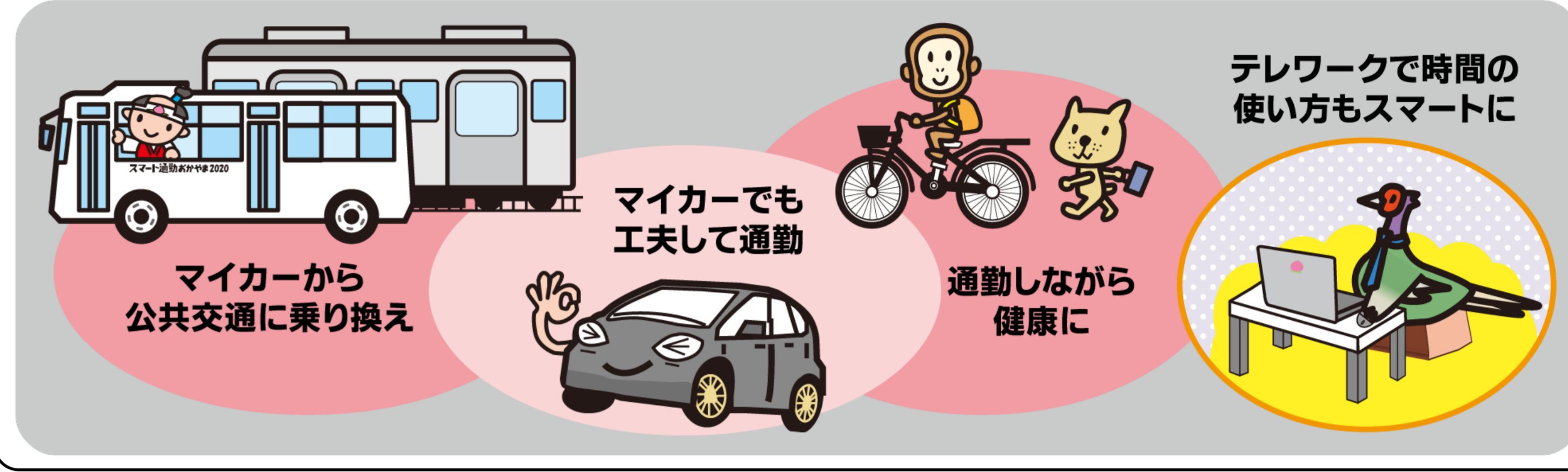
#### ▼朝の渋滞の様子（岡山市北区厚生町）



### スマート通勤おかやまの概要

岡山の渋滞削減やCO2削減、車に頼らないまちづくりを進めていくため、2007年より毎年秋に県内全域で一齐に実施

#### ▼スマート通勤の取り組みイメージ



## 2020年度までの課題と2021年度の取組

### 1. これまでの課題と2021年度の実施方針

#### 2020年度までの取組における課題

##### 1 参加事業所数の減少

H28年の119箇所をピークとして以来、減少傾向にあり、R2年には84箇所に減少。これまでのスマート通勤おかやまは事業所からの依頼・呼びかけを受けた参加者がほとんどであり、事業所数が減少すればそれに合わせて参加者数の減少が危惧される。

##### 2 スマート通勤おかやまに関する認知が不足

自治体の広報誌やチラシ等を通じた広報は従来から実施されてきたものの、参加者の大半は事業所からの依頼・呼びかけを受けて参加している。県民全体に取組の認知を拡大するためには、事業所・個人両面での広報手段を拡充が必要である。

##### 3 参加者に対するインセンティブの不足

スマート通勤おかやまへの参加に対するインセンティブとして、事業所単位では、アワードの表彰やガソリン消費量・CO2排出量削減効果のフィードバック等を実施しているが、個人単位でのインセンティブは特段用意されていない状況である。県民一人一人の参加意欲を醸成するためには、個人単位でのインセンティブを確保することが必要である。

#### 2021年度の実施方針

##### ① 広報手段の拡充

→これまでの広報に加え、事業所への個別訪問や、ラジオ放送を実施

##### ② GOOD ROUTEとの連携

→GOOD ROUTEの朝活スタイル（バス利用者へのカフェクーポン配布、朝のクラブ活動の開催）と同時期に開催し、相互の広報も実施

##### ③ 過年度実績に対する達成度を表示

→WEBを活用し、参加者個人・事業所全体での実施結果（CO2排出量、ガソリン消費量等）において昨年度実績に対する到達度を提示することで、参加意欲の向上を図る

##### ④ アワードの見直し

→多くの事業所が表彰機会を得られるよう、表彰項目の再検討を実施

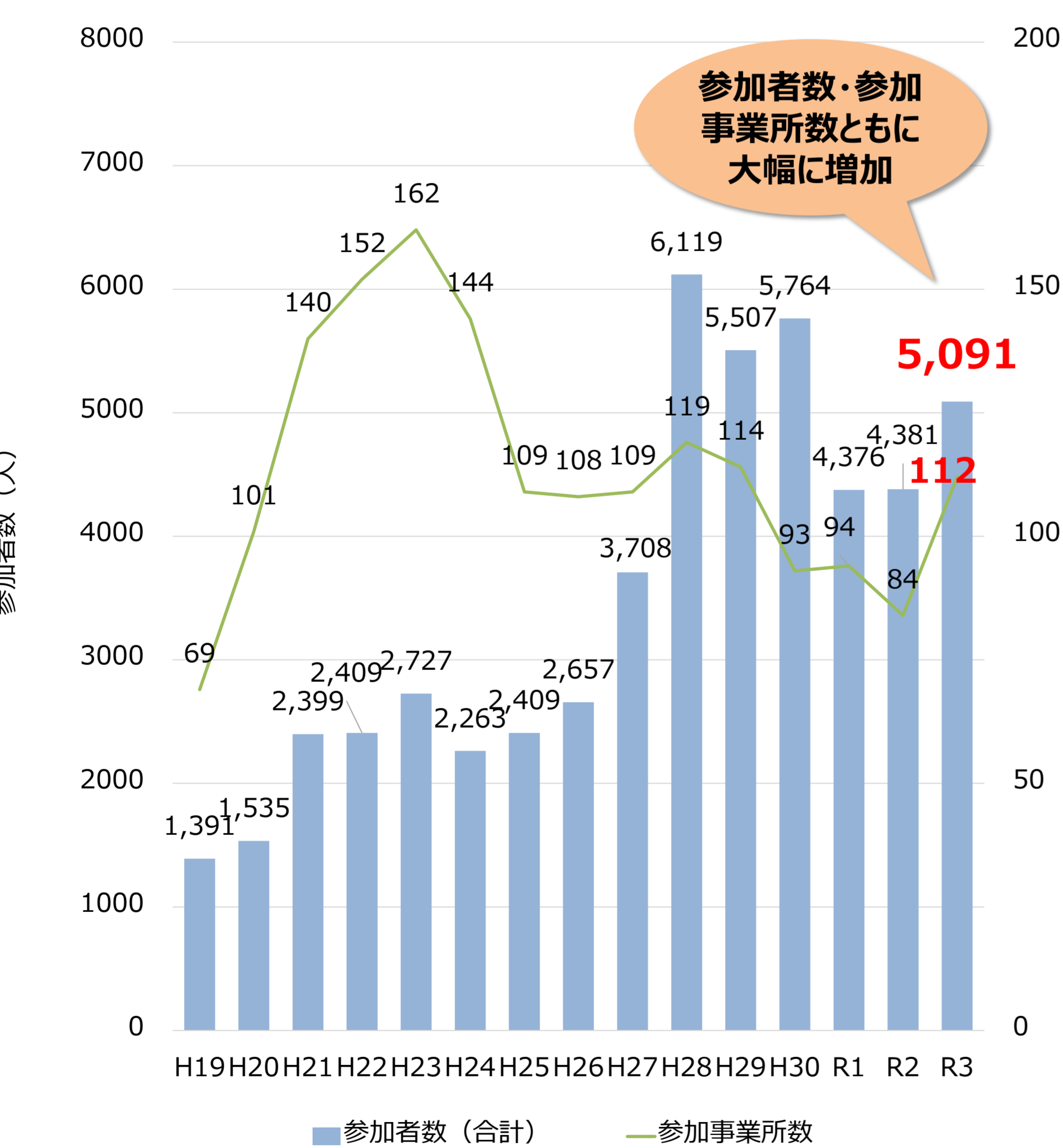
### 2. 2021年度の取組結果

#### 実施期間

実施期間：2021年11月1日（月）～11月12日（金）の12日間

#### 実施結果

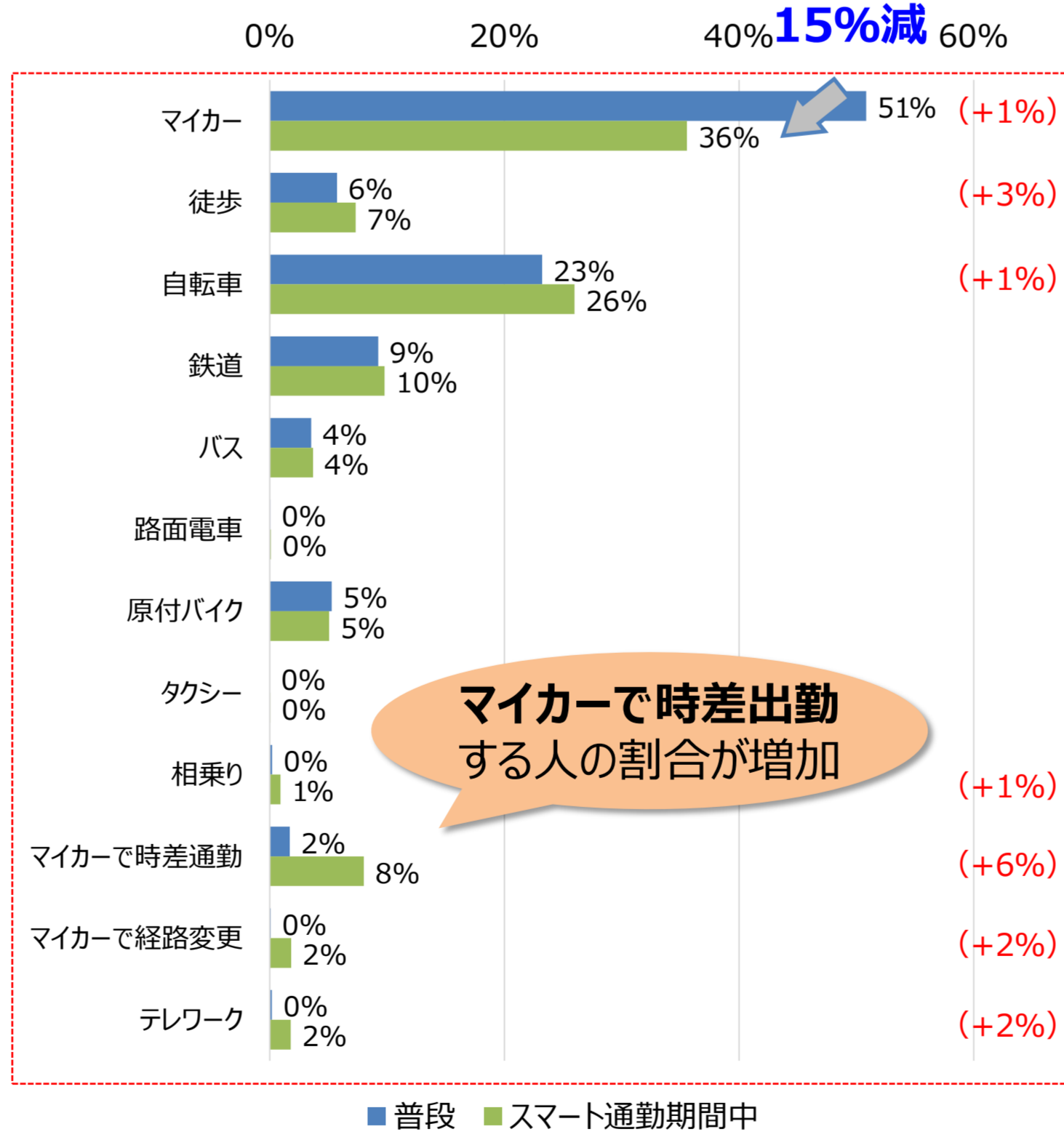
##### ▼参加者数・参加事業所数の推移



##### ▼過年度実績に対する達成度（一例）



##### ▼交通手段の変化状況



##### ▼スマート通勤おかやまアワード

顕著な実施結果の事業所について、自治体の首長から表彰状を授与



スマート通勤おかやま2021大賞	社会福祉法人岡山博愛会
スマート優秀賞	株式会社林原
普段からスマートで賞	協同組合倉敷市環境保全協会
スマート健康賞	エスタカヤ電子工業株式会社
公共交通活性化賞	社会福祉法人 岡山博愛会
スマート新人賞	株式会社山陽設計
自宅で頑張ったで賞	両備HD株式会社テクノモビリティカンパニー
買いクルマの使い方賞	株式会社両備システムズ
スマート復活賞	両備ホールディングス(株)両備スカイカンパニー
スマート拡大賞	株式会社両備システムズ
	岡山土地倉庫株式会社

##### ▼GOOD ROUTE(朝活スタイル)との連携

スマート通勤参加登録者へ事前案内を行い、スマート通勤と同時期に開催

■朝のクラブ活動：写真教室  
2021/11/2実施

■朝のクラブ活動：ルディックワーク教室  
2021/11/1,8実施

■カフェクーポンの配布  
配布期間2021/11/1～12/31

時差出勤や公共交通での通勤に賛同してくれる方に(株)ドールコーヒの無料サイズアップクーポンを提供

公共交通の車内に、クーポンのダウンロード画面ヘルクする二次元コードを掲示

## 2022年度の取組内容

2021年度は広報手段の拡充等により、参加事業所数・参加者数は昨年度と比較し大幅に増加した。2022年度は、事業所・個人それぞれへのより効果的な周知と、取組み効果の把握を行うことで、取組みのさらなる改良を図っていく。

#### ▼2021年度の結果・課題

事業所への個別訪問の際、**国や県からの呼び掛けがあれば参加を検討する**と複数の事業所が回答

2週間の任意参加では、実施時期が分散することで、**明確な渋滞緩和の効果発出に繋がりにくい**

#### ▼2022年度の実施方針

事業所向け・個人向けのそれぞれについて、より**訴求効果のある広報**を実施する

スマート通勤おかやま実施による**明確な取組み効果の把握**を行い、今後のPRに活用

#### ▼具体的な取組内容

- 県知事・市長名による**参加依頼文書の配布拡大**（数百→二千社程度への配布）
- **幅広い広報の推進**（デジタルサイネージの掲出箇所拡大等）
- **実施期間中における「特別日」の設定**（参加者に原則としてスマート通勤を実施等）
- **アワードの見直し**（より多くの事業者が表彰機会を得られるよう検討）
- **他施策・イベントとの連携**（GOOD ROUTE等）